



市民の誓い 私たちは 水を生かし 緑を広げ 安全に努め 心を育て 助け合います



市マスコットキャラクター おがっきい&おあむちゃん

深秋の宿場町 時代絵巻鮮やか



雅楽の調べに合わせて華やかに練り歩く姫宮行列

中山道赤坂宿まつり

赤坂町の旧中山道一帯で11月1日、「中山道赤坂宿まつり」が開かれ、14代將軍徳川家茂に嫁いだ皇女和宮の嫁入りを再現した行列が行われました。

この行列には、和宮に加え、9代將軍家重に嫁いだ比宮、10代將軍家治に嫁いだ五十宮も登場。3姫は、地元自治会や婦人会、小中学生らが扮する女官や甲冑武者など100人以上を従えて、荘厳な雅

楽の音色とともに、宿場町の面影を残す旧中山道を練り歩きました。

また、当日は、目玉である行列以外にも、旧清水家住宅での「旅の絵手紙作品展」や茶会、本陣公園でのよさこいソーランや餅まき、地元商店の物産市など、多彩な催しが行われました。

晴天に恵まれたこともあり、まつりには約4万人が来場。沿道を埋め尽くす大勢の観客は、目の前で練り広げられる鮮やかな時代絵巻に見入っていました。

芭蕉元禄大垣きもの園遊会

同じく11月1日、大垣駅通りや美濃路一帯で「芭蕉元禄大垣きもの園遊会」が開かれました。

かつての美濃路は、町人文化が開花した元禄時代から戦後までの長きにわたって、多くの呉服店が軒を連ね、にぎわいを見せていました。そのにぎわいを再現しようと開催されたこの催し。当日は、着物姿の参加者約300人が、着物姿でスタンプラリーや写真撮影会などを通し

て、まち歩きを楽しみました。

また、美濃路大垣宿本陣跡では、大茶会も開催。往時の宿場町さながらの雰囲気にも包まれる中、抹茶のおもてなしを受け、一息つく姿が見られました=写真=。



文化勲章を受章

名誉市民の中西重忠さん

大垣市出身(京都府京都市在住)で、京都大学名誉教授の中西重忠さん=写真=が、文化勲章を受章されました。



中西さんは、未知の領域であった神経伝達の基本的な仕組みと脳神経機能の分子メカニズムを世界に先駆けて解明するなど、遺伝子工学、神経科学、分子生物学の研究で業績を挙げられました。

秋の叙勲

秋の叙勲が発表されました。大垣市では、次の皆さんが名誉に輝きました。

《瑞宝小綬章》

◇奥田邦雄氏 元公立高等学校長 / 教育功労

◇郷 峰男氏 元公立高等学校長 / 教育功労

《旭日双光章》

◇北野茂樹氏 (公社)岐阜県食品衛生協会会長 / 食品衛生功労

《瑞宝双光章》

◇本郷雅彦氏 元公立高等学校長 / 教育功労

《瑞宝単光章》

◇西川幸子氏 元不破ノ関病院看護長 / 看護業務功労

11月15日号 主な内容

- ▶平成26年度市の財政状況など ... 2~3P
▶教育功労者表彰、講座、募集、「プラスチックはリサイクルへ」など ... 4~5P
▶子育て情報、催しなど ... 6~7P
▶「春のつどい」参加団体募集、市民伝言板など ... 8~9P
▶健康ガイド ... 10~11P
▶紅葉お出かけスポット、芭蕉元禄イルミネーション、ソフトピアジャパン冬のファンタジー... 12P

中西さんは、昭和17年、西外側町に生まれ、興文小学校、興文中学校、大垣北高校を卒業。京都大学医学部に進学された後、同大学の助教授、教授となられ、研究者として数々の研究成果、業績をあげられています。主な功績としては、脳神経の細胞がどう情報を伝えて働くのか、その仕組みを遺伝子や分子レベルで解明。遺伝子工学、神経科学、分子生物学の世界的権威として、多くの研究者の論文に引用されています。



母校の後輩に半生を語る中西さん(平成22年)

中西さん 文化勲章受章の喜び



市長のなかまさん

大垣市長 小川 敏

大垣市名誉市民で京都大学名誉教授の中西重忠さんが、文化勲章を受章されました。日本画家の故守屋多々志さんが平成13年に、化学者の中西香爾さんが平成19年に受章されたのに続いて、本市では3人目の受章者となります。このご栄誉は、市民の誇りであり、心からお祝い申し上げます。

文化勲章は、昭和12年に、科学技術や芸術などの分野で功績のあった人を表彰する制度としてスタート。これまでに384人が受章されており、近年は、芸能界にも受章者が広がっています。また、以前は、文化勲章がノーベル賞へのステップと思われてきましたが、近年は、順序が逆になるケースも多くなりました。

中西さんは、昭和17年、西外側町に生まれ、興文小学校、興文中学校、大垣北高校を卒業。京都大学医学部に進学された後、同大学の助教授、教授となられ、研究者として数々の研究成果、業績をあげられています。主な功績としては、脳神経の細胞がどう情報を伝えて働くのか、その仕組みを遺伝子や分子レベルで解明。遺伝子工学、神経科学、分子生物学の世界的権威として、多くの研究者の論文に引用されています。

本市への貢献も多大で、これまで、母校や文化連盟祭などでの講演に、たびたび登場されています。改めて、今回の文化勲章受章をお祝いすると同時に、中西さんの次に続く青少年が育つことを期待しています。